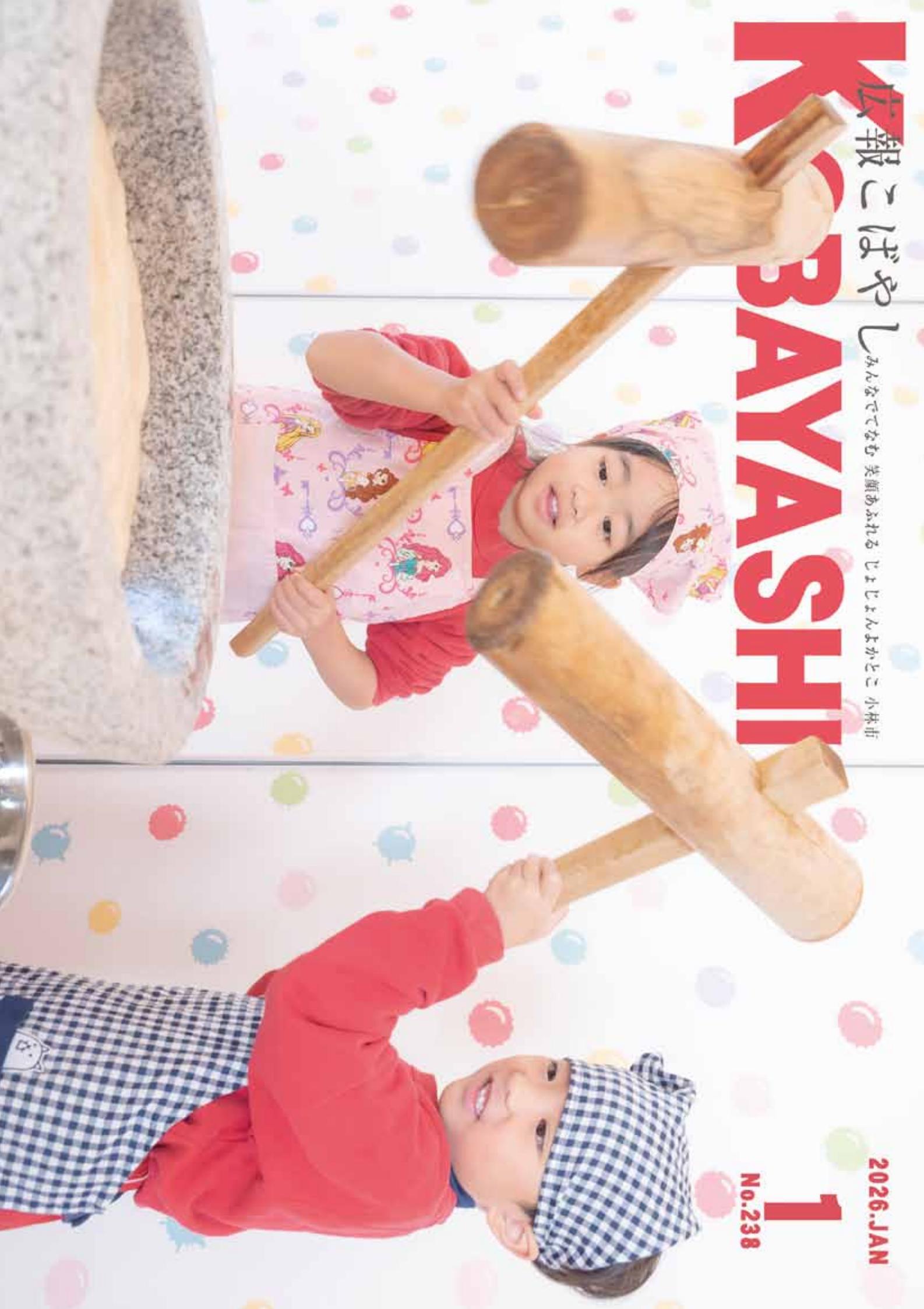


広報こばやし
みんなでなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市

2026.JAN

KOBAYASHI

1
No.238



家族で楽しめる総合レジャー施設に
雨の日ものじりこぴあで遊ぼう
複合型遊具をリニューアル



3月、のじりこぴあに雨天時も遊ぶことができる全天候型遊具を整備しました。遊具は平成4年開業時から親しまれてきたものをリニューアル。同29日には、記念式典が開かれ、市内外から2000人を超える家族連れが来場。オープンを待ちわびた子どもたちは、テープカットと一緒に遊具に向かって一斉に走り出し、歓声をあげながら新しい遊具を堪能していました。

「初優勝は宮崎への恩返しの始まり」 脇元華選手がゴルフトアー初V 副賞を子ども支援のために寄付

小林市出身のプロゴルファー、脇元華選手(GMOインターネットグループ所属)が11月の伊藤園レディースでツアー初優勝を果たしました。脇元選手は細野小・中学校出身の28歳。一年前には両校児童生徒を対象に講演を行うなど、地元での活動にも精力的に取り組んでいます。

プロ8年目で初優勝を遂げ、「長い時間はかかったが、念願の初優勝を皆さまに報告することができた」と笑顔で話す脇元選手。12月には同ツアーで獲得した副賞の米(600kg)と飲料(1080本)を、県内の子どもを支援する団体と小林市にそれぞれ寄贈しました。脇元選手は「私もひとり親家庭で育ち、どんな時も支えてくれた家族のおかげで夢をあきらめずに続けてこられた。今度は私自身が子どもたちの背中をそっと押せる存在でありたい」と寄付への想いを話しました。

あなたにとって2025年はどんな1年でしたか?
本市に関する1年間の出来事を振り返ります。

一時は5000円超える噴煙も 7年ぶりに噴火した新燃岳 市内でも広範囲に降灰を確認



6月22日、新燃岳が7年ぶりに噴火しました。翌23日には噴火警戒レベルが入山規制を伴う「3」へ引き上げられ、7月4日には県内で54年ぶりとなる二酸化硫黄注意報が発令。市は公式LINEや防災ラジオなどで情報を発信し、注意を呼びかけました。その後、火山活動は徐々に沈静化傾向となり、10月17日には火口周辺規制の「2」へ引き下げされました。



①腰に痛みを抱えながら悲願の初優勝を飾った脇元選手
②贈呈式には、脇元選手に代わり、父・信幸さんら家族が出席



CONTENTS

広報こばやし
No.238

2026 January

1

- 02 市政の動きトピックス
／2025年を振り返る
- 04 新春のごあいさつ
- 06 PhotoReport こばやし秋まつり
- 08 PhotoReport こばやし駅伝競走大会
- 10 こばやしTopics
- 13 Pick Up Information
まちづくり市民アンケート結果報告
- 14 おしゃらせ
- 15 ロバートのコラム／KOBASPONEWS
- 16 教育委員会からのお知らせ
／きずな協働体通信
- 18 手話で話そう！
／健幸のまちづくり拠点施設整備つうしん
／元気の知恵袋
- 19 図書館からのお知らせ／こばまち便り
- 20 くらしのカレンダー
- 22 Instagram& 広報こばやし／文化の足跡
- 23 心の花びら／SUKUSUKU

今月の表紙

ぺったんこ！幸せをつく新春の餅つき



表紙は、認定こども園「太陽の子幼稚園」の子どもたち。「よいしょ！」の掛け声とともに、小さな体で大きなきぬを一生懸命に振り上げ、餅つきに挑戦しました。子どもたちのはじける笑顔のように、明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますように。

カヌー・ローイング競技の熱戦舞台 観光と競技の両立目指し 須木・小野湖の会場整備進む



令和9年の宮崎国スポでカヌー・ローイング会場となる須木・小野湖の整備を進めています。旧「かるかや」周辺に艇の準備場や観覧席などを新設し、同9年3月の完成を目指すことで、単なる競技会場にとどまらず、大会後も合宿誘致や水上アクティビティの観光拠点としての活用を目指します。また、市民が水辺に親しめる環境を整え、地域活性化とスポーツ振興の両立を図ります。

新愛称は「ひいらぎスポーツパークこばやし」 ひいらぎホールディングス(株)が 総合運動公園の命名権を取得



11月、小林総合運動公園の新愛称が「ひいらぎスポーツパークこばやし」に決定しました。命名権を獲得したのはひいらぎホールディングス株式会社(柊崎庄二社長)。同公園は、市の健幸のまちづくりの中核として複合体育館の整備も進む、市民のスポーツと憩いの拠点です。愛称は来年4月から使用を始め、同公園内の各施設に「ひいらぎ」の名称が付けられます。

明

けましておめでとうござ
います。皆さまにおかれま
しては、輝かしい新年をお迎えの
こととお喜び申し上げます。

旧年中は市政各般にわたりご理
解とご協力を賜り、心から感謝申
し上げます。

小林市は、本年、新市誕生20周

年を迎えます。その記念すべき年
に、体育館機能や健康づくり機能、
子育て支援機能、避難所機能を備
えた複合型施設である「健幸のま
ちづくり拠点施設」が、3月に完
成します。また、健幸ポイント事
業の参加者数も2千人を突破する
などハードとソフト両面から着実
に成果が表れているところです。
市民の皆さまが誇れる施設となる
よう取り組んでまいりますので、
ぜひ完成する健幸のまちづくり拠
点施設を活用いただき、皆で楽し
く健康づくりをしましょう。

令和9年に宮崎県で開催される
「日本のひなた宮崎国スポ・障ス
ポ」まで2年を切りました。競技
の実施に向けた施設整備は順調に
進んでおりますが、本年は、本番
を見据えたりハーサル大会が各種
競技で実施されます。国スポ・障
スポの開催は、本市の魅力を全国
にPRし、地域の活性化を図る絶

好の機会です。「オール小林」で
の大会を目指し取り組んでまいり
ますので、ご協力を願いします。
地域活性化については、小林駅
前の中央ふれあい広場に全天候型
のイベントドームを整備すること
としました。天候に左右されない
イベント会場として、そして中心
市街地の新たな「にぎわい創出」
と持続的発展をもたらすものと考
えております。令和9年度の完成
に向けて取り組んでまいりますの
で、ご期待ください。

また、須木の小野湖では、国ス
ポに伴う施設整備に加え、宿泊施
設等の整備にも着手しております
。国スポ・障スポ後も見据えた
地域活性化策となるよう進めてい
るところです。

防災については、昨年は新燃岳
が7年ぶりに噴火し、市内でも降
灰があるなどの影響がありました。
また、日向灘での地震をはじめ、
全国各地で地震や大雨等による
大規模災害が発生しています。
本市では、各地域で防災訓練など
に積極的に取り組んでいただいて
おりますので、ぜひ自助、共助を
含めて防災について考え、日頃の
備えをお願いします。市としまし

ても、皆さまの安心安全を確保す
るために、危機管理体制の充実に
努めてまいります。

全国的な人口減少は、本市にお
いても大きな課題であります。市
政運営におきましては、こうした
状況による社会情勢や環境の変化
を的確に捉え、将来にわたって持
続可能な地域を構築できるかが重
要であると考えます。このことか
ら、令和8年に策定する第3次小
林市総合計画に基づき、人口減少
社会に対応したまちづくりを推進
し、基本構想に掲げる将来都市像
「みんなでてなむ 笑顔あふれる
じょじょんよかとこ 小林市」
の実現に努めてまいります。

本年の干支である「午」は、「成
功」や「発展」の象徴といわれて
います。これまでの取り組みが実
を結び、20周年を迎えた小林市が
さらに発展するとともに、市民の
皆さまが元気に笑顔で暮らせるよ
う、今後も対話を重ね決断する市
政運営に努めてまいります。

本年も市政各般にわたりご支援
ご協力を賜りますよう心からお願
い申し上げますとともに、皆さま
におかれましても、素晴らしい一
年となりますことをご祈念申し上
げ、新年のあいさつといたします。



新春のごあいさつ 新年 謹賀

市民が元気で笑顔になれる

小林市を目指します。 小林市長

多原義久

大塚原公園から迎える朝日

こばやし秋まつり



11月23日、五穀豊穣を祈念し、豊年に感謝する「こばやし秋まつり」が開催されました。市内の団体などがパレードや総踊りに参加。中心市街地を山車や子ども神輿が練り歩いたほか、ブライダルコレクションのパレードなどが通るたび、沿道からは大きな拍手が送られました。

また、市内の飲食店などが出店する「食の祭典うめもん市」では、恒例の宮崎牛汁うどんが販売されたほか、姉妹都市能登町の特産品販売なども行われました。



東野 PhotoReport 第74回 こばやし駅伝競走大会 - 2025.12.7 -

区間賞【氏名(敬称略) / 校区 / 記録】

■第1区=加藤 里亜菜/細野校区/3分31秒 ■第2区=木島 大翔/細野校区/6分49秒 ■第3区=肥後 来美/南校区/4分30秒 ■第4区=齐藤 元/東方校区/7分46秒 ■第5区=鶴野 叶大/細野校区/4分24秒 ■第6区=田中 優哉/細野校区/7分58秒 ■第7区=西元俊/小林校区/7分30秒 ■第8区=深松 奏太/西小林・幸ヶ丘校区/5分43秒 ■第9区=園田 亮介/細野校区/5分29秒 ■第10区=西圭宇/細野校区/7分02秒 ■第11区=上飯 飛鳥/西小林・幸ヶ丘校区/3分29秒 ■第12区=橋谷 志友/西小林・幸ヶ丘校区/4分01秒

総合成績

- 1位=細野校区 ■ 2位=小林校区
- 3位=西小林・幸ヶ丘校区 ■ 4位=三松校区
- 5位=紙屋校区 ■ 6位=南校区
- 7位=野尻校区 ■ 8位=東方校区
- 9位=須木校区 ■ 10位=栗須校区
- 11位=永久津校区

12月7日、70年以上の歴史を刻む市伝統の「第74回こばやし駅伝競走大会」が開催されました。大会には市内11校区が出場。小学生から大人まで世代を超えた選手たちが、沿道からの熱い声援を背に、全12区间20・7キロのコースを駆け抜けました。レースは、細野校区と小林校区による一進一退の攻防。1区で細野が先頭に立つも、3区では小林が逆転。直後の4区ですかさず細野が抜き返すも、7区で再び小林が首位に立つなど、激しいデッドヒートが繰り広げられました。勝負の分かれ目となつたのは第9区。2位でタスキを受けた細野が区間賞を記録する圧巻の走りで再逆転に成功。その後は一度も首位を譲ることなく1時間11分53秒で歓喜のゴールテープを切りました。2位には最後まで粘った小林、3位には西小林・幸ヶ丘が入りました。

「食べることは生きること」 野尻小ではなちゃんのみそ汁教室

12月9日、野尻小学校で6年生を対象に書籍や映画にもなった「はなちゃんのみそ汁」のモデルの安武はなさんを講師に迎え、はなちゃんのみそ汁教室が行われました。児童は、安武さんの指導を受けながら、かつお節を削り出汁を取ってみそ汁を調理。授業は料理を学ぶだけではなく「食べることは生きること」を学ぶ機会となりました。



10日には「はなちゃんのみそ汁」著者の安武信吾さんを迎えて、児童や保護者などに講演会を開催。家族との関わり方や食育推進などについて講演しました

地域福祉のバトン未来へつなぐ 民生委員・児童委員式典を挙行

11月30日、民生委員・児童委員の退任式・新任式が開かれました。式では、地域福祉の一翼を担ってきた退任者30人に感謝状を贈呈し、新任者22人に委嘱状を交付。協議会の吉脇辰男会長は多忙を極めた3年間を振り返り、尽力した委員たちへ感謝。新任者代表の藤崎哲也さんは「地域のために努力したい」と、活動への決意を述べました。



一斉改選から3年、約4分の1の委員が入れ替わりました。新旧委員が互いに敬意を表し、新たな体制で地域を見守る活動がスタートします

地域へ感謝し未来への飛躍を誓う 栗須小学校で創立150周年式典

11月29日、栗須小学校で創立150周年記念式典が開かれました。児童や地域住民ら約300人が集い、明治6年の開校から続く歴史を回顧。園田祐一郎校長は地域の結束に感謝を述べました。最後は参加者全員で校歌を齊唱して心を一つにし、懐かしい旋律と共に母校への想いを共有。会場全体で節目を祝い、未来への飛躍を誓いました。



式典では合唱や劇も行われたほか、5年生が伝統の「鉦踊り」を披露。150年の歴史の重みと未来への希望を、地域一体となって共有しました

須木で学ぶ火山と森のめぐみ散策ツアー

12月6日、須木地区で「どんぐりで学ぶ火山と森のめぐみ散策ツアー」が開かれました。参加者は、ガイドの解説を聞きながらの散策や炭酸飲料を使った噴火実験などを体験。どんぐり拾いや工作を通して、楽しみながら地域の自然や大地の成り立ちに理解を深めました。



多彩な催し満喫「体験フェス」にぎわう

12月6日、市民活動支援センターで「体験フェス」が開催されました。ステージイベントや竹細工、お茶席などの体験ブースに加え、今年はデジタルコンテンツの体験講座も実施。豚汁の振る舞いなども催され、会場は多くの来場者でにぎわいました。



献血推進の功績称え市内2団体が栄誉

11月14日、みやざき愛の献血運動推進県民大会が開かれ、長年にわたり献血活動に尽力した労働者が表彰されました。市内からは株式会社タイヨーサンキュー小林店が厚生労働大臣感謝状、JAみやざきこばやし地区本部が日本赤十字社金色有功章を受章しました。



冬のまちを彩る「こばやし冬まつり」

11月23日、小林駅南公園を会場に「こばやし冬まつり2025」が開催されました。今年で25回目の開催となったまつりには多くの家族連れが来場。鮮やかなイルミネーションを撮影するなどして楽しみました。イルミネーションは1月16日まで点灯予定です。



日向灘沖地震を想定し連携確認 自助・共助で地域の防災力向上

11月16日、県の総合防災訓練に合わせ、市内各地で防災訓練が行われました。訓練は日向灘沖を震源とするM9.0の地震を想定。市は自衛隊や消防団と連携し、須木地区への空輸や物資輸送の手順を確認しました。自主防災訓練では避難所設営や炊き出しなどを実施。市民の防災意識を高め、関係機関との「顔の見える関係」構築が図られました。



須木地区では孤立集落を想定したへの空輸訓練も展開。参加者は実践的な訓練を通じ、地域防災の要となる自助・共助の大切さを再確認していました

運動公園へ「避雷球」落雷対策で寄贈

関東在住の出身者でつくる関東小林会の大山英雄さんから、総合運動公園に落雷抑制装置（避雷球）が寄贈されました。



近年増加する雷雨から、屋外で活動する子どもたちの安全を守るのが目的。11月15日、同園の陸上競技場屋根と遊具広場への設置が完了しました。

「昭和の小林」ヘタイムスリップ 写真や民具でたどる昭和100年

昭和100年の節目を記念した「写真で振り返る昭和の小林」が、11月23日から25日まで中央公民館で開催されました。会場には、昭和2年の小林大火の記録や当時の街並み、民具など市所蔵の約290点が展示。昭和40年代の地図と現在の風景を見比べるコーナーもあり、来場者は世代を超えて当時の姿を懐かしみ、思いをはせました。



富崎市から訪れた申斐穂子さんは「記憶が薄れていくばかりだった、幼少期を過ごした小林の風景を少しだけ思い出すことができた」と話しました

南小児童が能登町に横断幕を寄贈

11月23日、南小学校の児童が、能登半島地震で被災した姉妹都市・石川県能登町の吉田義法町長へ横断幕を贈りました。復興への願いを込め、児童たちの手形で彩られた横断幕。被災地を思う温かいエールが届けられ、両都市の絆を深める交流となりました。



令和6年度

まちづくり 市民アンケート結果報告

市では、「第2次小林市総合計画（将来都市像：みんなでなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市）」の実現に向けてさまざまな施策を推進しています。この将来都市像の達成に向けて、市内各地域、幅広い世代の意見をまちづくりに反映するため「まちづくり市民アンケート」を毎年実施しています。

アンケート結果は、市政運営に活用されます。

●問=企画政策課 Tel 23 - 0456

「美しい自然」や「今後も住み続けたい」など 『くらし』分野の満足度が高い結果

第2次小林市総合計画の各分野（にぎわい、いきいき、まなび、くらし）の目指す状態である「基本構想」の満足度を調査しました。特に平均値が高い

基本構想の評価 (R5・R6 まちづくりアンケートより)		基本構想の“目指す状態”を「そう思う4点、ややそう思う3点、ややそう思わない2点、そう思わない1点」の4段階でアンケートを行い、その平均値を算出しています。	
にぎわい	将来都市像 みんなでなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市	2.66 (R5) 2.75 (R6)	みんながいつまでも学べる 2.11 (R5) 2.14 (R6)
	人が集まっていてにぎわいがある	1.71 (R5) 1.89 (R6)	市民総がかりの教育が行われている 1.89 (R5) 1.99 (R6)
	豊かな地域資源が活用されている	2.13 (R5) 2.21 (R6)	「だれでもいつでも学べる・学ばせる場」が整っている 1.90 (R5) 1.98 (R6)
	暮らしが豊かである	1.89 (R5) 1.99 (R6)	身近に文化・芸術を感じられる 1.77 (R5) 1.87 (R6)
	働きがいがある	2.07 (R5) 2.12 (R6)	いつまでもスポーツができる 2.38 (R5) 2.43 (R6)
	出会い、ふれあい、支え合いがある	2.15 (R5) 2.18 (R6)	食について学べる 2.18 (R5) 2.21 (R6)
	健康・いきがいがある	2.39 (R5) 2.43 (R6)	災害時にみんなが助け合える 2.37 (R5) 2.49 (R6)
	高齢者が元気でいられる	2.54 (R5) 2.60 (R6)	美しい自然が残り、いつまでもおいしい水が飲める 3.25 (R5) 3.27 (R6)
	障がい者が夢や目標を持てる	1.97 (R5) 2.10 (R6)	安心して住めるまちである 2.86 (R5) 2.90 (R6)
	子育てがしやすい	2.06 (R5) 2.17 (R6)	隣の顔が見え、支え合うまちである 2.51 (R5) 2.51 (R6)
いきいき	あんしんして医療が受けられる	1.97 (R5) 2.04 (R6)	今後も小林市に住み続けたい 3.00 (R5) 2.94 (R6)

今年度もアンケートを実施します

「まちづくり市民アンケート」を1月に実施します。市全体の傾向を把握するための極めて重要なアンケートですので、ご協力をお願いします。

■アンケートの取り扱い

- ・調査は無記名で、個人を特定する内容は含みません
- ・調査結果は市ホームページや広報紙などで公表します
- 問=企画政策課 Tel 23 - 0456



秀峰高校福祉科×茶飲ん場水流迫 高校生と地域住民が笑顔で交流

12月3日、小林秀峰高校で同校福祉科の2年生と茶飲ん場水流迫が交流会を開催しました。これは、地域との交流を図りながらコミュニケーション能力を身につけることを目的に生徒が企画から運営を行うもの。参加者は、四字熟語クイズなどの脳トレや西諸島ラジオ体操、誕生会などで和気あいあいと交流を深めました。



司会を務めた黒木琉歌さん（2年）は「みんなで考えて準備してきたので喜んでもらえてうれしい。今日学んだことを将来に役立てたい」と話しました

華麗な技で魅了する小林新体操演技会

12月6日、市民体育館で小林新体操演技会が開催されました。演技会では、小林秀峰高校や小林新体操クラブなど地元のチームが演技したほか、鹿児島実業高校も演技を披露。選手たちは、華麗な技で観客を魅了し、会場から大きな拍手が送られました。



今年も上出来！めろめろメロン初競り

12月4日、JAみやざきこばやしメロン部会が宮崎中央卸売市場で令和8年産めろめろメロンの解禁PRを行いました。競りでは、A 2・3L（5玉入り）1箱が15万円の高値で取り引き。今年は例年よりも外観、甘味ともに上々の仕上がりで、6月まで出荷予定です。



国スポ・障スポへの関心高まる 市内小学校でパラスポーツ体験会

12月2日、紙屋小学校と小林小学校でUMKスポーツフェスタ「パラスポーツ体験会」が開催されました。児童たちは、パラスポーツの指導員から指導を受け、白い的球に自分のカラーボールを近づけて点を競い合うボッチャなど4競技を体験。令和9年に小林市でも開催される宮崎国スポ・障スポについて興味や関心を深めました。



前田健吾さん（小林小5年）は「普段、体験できないパラスポーツを体験できて良かった。宮崎国スポ・障スポでは応援を頑張りたい」と笑顔で話しました

映画「木の上の軍隊」特別上映会 平和尊ぶ心、満員の会場に響く

12月13日、文化会館で映画「木の上の軍隊」特別上映会がありました。戦後、沖縄のガジュマルの木の上で2年間を生き抜いた本市出身の山口静雄さんと沖縄県の佐次田秀順さんがモデルの本作。市民からの熱烈な要望により実現した今回の上映は、戦争の記憶と生きる希望を深く問いかけ、満員の観客はその姿に静かに見入っていました。



上映後のトークショーには山口さん・佐次田さんの遺族が登壇。壮絶な実体験と平和への切なる思いに、超満員の会場から惜しみない拍手が送られました

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内9地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

チームみまつ
協働体

災害時の「共助」学ぶ 三松校区で合同防災訓練



11月16日、県の総合防災訓練に合わせ、チームみまつ協働体と三松校区長会の合同防災訓練を行いました。当日は、三松中学校の生徒40人を含む地域住民約100人が参加し、地域の防災力向上に取り組みました。訓練では、防災講話に加え、避難所開設を想定した簡易ベッドやテントの組み立て、ロープワーク、炊き出しなどを実践。中学生が大人と声を掛け合いながら作業するなど、世代を超えた連携が見られました。

発災時には、近隣で助け合う「共助」が命綱となります。この日は、いざという時に備えた「顔の見える関係づくり」と地域の防災意識向上を図る大変有意義な一日となりました。

永久津いきいき
協議会



地域と中学生が創る 永久津ドンと祭り



11月2日、第12回「永久津ドンと祭り」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、地域団体や事業所、住民が一体となって作り上げた手作りの祭りは、多くの来場者でにぎわいました。特筆すべきは、地元中学生の活躍です。例年通り、生徒たちは企画から運営、片付けに至るまで主体的に参加し、地域の一員として祭りを支えました。会場では趣向を凝らした舞台発表や「深奏太鼓」の勇壮な響きに加え、夜空を彩る大輪の花火がファイナーレを飾りました。子どもからお年寄りまで笑顔があふれる一夜となりました。皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

東方校区
まちづくり協議会

伝言ダイヤル体験や体操も 東方校区で防災講演会



11月15日、東方校区まちづくり協議会の安全防災・健康福祉部会の共催で、防災講演会を開催しました。市SVCセンターの川野氏を講師に迎え、災害用伝言ダイヤル（171）の実践的な操作体験や、吉丸部会長指導の「ひっこげん体操」を行い、災害への備えと避難生活での健康維持を共に学びました。なお、当協議会では2月11日（水曜・祝）、三ノ宮駅周辺を散策する、毎年恒例の「健幸ウォーキング大会」を開催します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

※詳細は1月中旬に案内します

●問
・東方校区まちづくり協議会
TEL 48-0205

2025 小林市読書まつり

読書感想文・感想画コンクール

11月9日、「2025 小林市読書まつり」読書感想文・感想画コンクール表彰式が開催されました。コンクールは、子どもたちが本に親しみ、読書を通して言葉を学び、感性を磨くことで表現力が豊かになることを願い毎年実施しているもの。今年は読書感想文・感想画あわせて市内小・中学校から251点の応募があり、38点を市長賞、議長賞、教育長賞として選出しました。

表彰後は、読書感想文で市長賞を受賞した南小5年の松本睦央さんと西小林中2年の鷹巣虹心さんが朗読。素晴らしい作品に大きな拍手が送られました。

読書感想画の入賞作品は、市立図書館に展示されました。



写真左 市長賞を受け取る受賞者たち
写真右 受賞作を朗読する松本さん（題「仲間と共に」）と鷹巣さん（題「自分らしさとは何か」）

【読書感想文受賞者（敬称略）】	市長賞 山王結愛（西小林小1年）、桑島杏（三松小2年）、長野恭介（南小3年）、寺園緋色（南小4年）、松本睦央（南小5年）、池上和愛（野尻小6年）、鷹巣虹心（西小林中2年）
議長賞	長野優麻（南小1年）、深瀬英美（栗須小2年）、原田拓和（南小3年）、中窪莉子（南小4年）、大平落幸（三松小6年）、富満陽美（野尻中2年）
教育長賞	荒川颯大（野尻小1年）、橋谷凪（西小林小2年）、中窪晟仁（南小3年）、猪尾彩寧（野尻小4年）、原田柳央（野尻小5年）、花木晴海（三松中1年）、西ノ村晟汰（永久津中2年）、庭山結華（野尻中3年）
【読書感想画受賞者（敬称略）】	市長賞 内之倉咲架（栗須小1年）、村社薫（須木小2年）、山下暖心（細野小3年）、折田依知果（野尻小4年）、夏木結凪（須木小5年）、高岩凌河（南小6年）
議長賞	福永咲世（西小林小1年）、平川縁（須木小2年）、石橋凜（南小3年）、今井遙妃（南小4年）、中村文香（小林小5年）、田原旬（須木小6年）
教育長賞	木田和葉（三松小1年）、橋本咲良（小林小2年）、小野咲舞（南小3年）、高岩咲真（南小4年）、川上舞桜（須木小5年）

「食」の大切さや楽しみを絵画で表現

「弁当の日」絵画作品コンクール 最優秀賞2点が決定！

「食」の大切さや楽しみを考えもらおうと、夏休みを利用して市内小学生を対象に「弁当の日」に関する絵画作品を募集しました。今年は224点の応募があり、最優秀賞2点が決定しました。最優秀賞作品は、ポスターを作成し、市内小学校に掲示します。



▲坂口さん作（ぼくの好きなものがたくさんある弁当）



▲大田さん作（お弁当の絵）



写真左 小学校低学年部で受賞した坂口蒼太郎さん（細野小2年）
写真右 小学校高学年部で受賞した大田正太朗さん（幸ヶ丘小4年）

伝言ダイヤル体験や体操も 東方校区で防災講演会



11月15日、東方校区まちづくり協議会の安全防災・健康福祉部会の共催で、防災講演会を開催しました。市SVCセンターの川野氏を講師に迎え、災害用伝言ダイヤル（171）の実践的な操作体験や、吉丸部会長指導の「ひっこげん体操」を行い、災害への備えと避難生活での健康維持を共に学びました。なお、当協議会では2月11日（水曜・祝）、三ノ宮駅周辺を散策する、毎年恒例の「健幸ウォーキング大会」を開催します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

※詳細は1月中旬に案内します

●問
・東方校区まちづくり協議会
TEL 48-0205



日本神話の郷 霧島岑神社

小林市細野(夷守)4937 社務所 Tel.0984-23-0855
(細野より南へ1.2km直進) 宮司携帯 090-3735-9954

和田クリニック
人工透析センター

超純水透析液を使用した質の高い透析治療
最新機種（全自动透析装置）を用いた安心・安全な透析
送迎応談・随時見学可

☎ 23-5653/Fax 22-5142
〒886-0003 小林市堤 3727 番地1
<http://wada-clinic.or.jp/> 和田クリニック

**トラクター・重機
トラック・農機具**
古くても、壊れても、不動車でも
どこよりも高く買い取る

見積り無料
どこでも
かけつけます!
ことを目指
しています!!

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、
又は買取額 10% UP 致します。

TEL:0986-77-9092
農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
アヴァンティ 携帯:080-3375-9750
FAX:0986-77-9092
<https://kaitorimiyazaki.jimdo.com>

株式会社こやの印刷

小林市梅の天神下(山麓線)
TEL.(0984)27-0050
FAX.(0984)27-0051
E-mail:kzn.o@abelia.ocn.ne.jp

(有)宮内葬儀社
0120-24-2349
小林市細野 437 番地4 (市役所前)
TEL 0984-22-2349

西町斎場・上町斎場・ラウム会館

(有)やすかた畳ふすま店

小林店 〒886-0007 小林市真方 384-10
TEL 0984-22-4566
FAX 0984-27-4566

都城三股店 〒889-1914 三股町蓼池字前ノ村4178
TEL 0986-36-3820
FAX 0986-36-8621

通話料無料 (フリーダイヤル)
0120-18-4566
お電話下されば見積りに伺います(無料)

「大切な方とのお別れをお手伝いいたします」
「大小ご希望に応じたご葬儀をご提案いたします」

※ただいまプリエール会員(割引特典あり)募集中です。
詳しい内容はお近くの斎場または各支店でお尋ねください。

JAみやざき プリエール小林

フリーダイヤル	☎ 0120-89-0983
プリエール小林	小林市水流迫 644-4
小林斎場	☎ 23-1084
プリエール小林	小林市野尻町東麓 1379-1
野尻斎場	☎ 44-0040
プリエール小林	高原町大字西麓 3243-1
高原斎場	☎ 42-4400